

授業科目名・形態	就労支援論	講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	山田 克宏		実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

就労について福祉的視点から講義します。具体的には、雇用対策法で「就労が困難な者」と位置づけられている。①身体障害者、②知的障害者、③精神障害者、④刑を終えた出所者、⑤社会的事情により著しく阻害されている者への就労支援についてみていきます。働くことは、生き甲斐や QOL を支える重要な要素と言える。働くことを支援する意義について学びを深めていく。

以上により、相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度と就労支援に係る組織・団体及び専門職について理解する。特に就労支援分野との連携と就労支援における社会福祉専門職の役割について理解していくことが主題となる。

【到達目標】

- 1) 「働くこと」の意味を説明できる。
- 2) 雇用・就労の動向と施策を理解する。
- 3) 障害を抱えるクライアントの就労支援の実践をイメージできる。
- 4) 低所得者に対する就労支援の方法、支援上の課題を説明できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 働くことの意味と就労支援に係る組織・団体・専門職と社会福祉士の役割
- 第2回 雇用・就労の動向と施策(1)
- 第3回 雇用・就労の動向と施策(2)(労働に関する法律と制度)
- 第4回 障害者と就労支援(1)(障害者の雇用状況)
- 第5回 障害者と就労支援(2)
- 第6回 低所得者と就労支援(1)
- 第7回 低所得者と就労支援(2)
- 第8回 まとめ

【授業実施方法】

講義(アクティブラーニング、視覚教材の活用)

【授業準備】

テキスト・サブテキストで、障害者の生きづらさ、就労支援に意味について学習しておくこと(分からない語句は、事前に調べること)。

【主な関連する科目】

公的扶助論、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

就労支援サービス(新・社会福祉養成講座18)中央法規出版

【参考文献】

向谷地生良：安心して絶望できる人生、日本放送出版、東京、2006年。山本譲司：累犯障害者、新潮社、東京、2009年。九州社会福祉研究会：21世紀の現代社会福祉用語辞典、学文社、東京、2013。

【成績評価方法】

授業態度・参加意欲等10%、レポート30%、期末試験60%の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、後見人業務を通じて障害者の就労支援を行ってきた。臨床でのクライアントの思いや不安などを事例を交え、講義を行う。

【学生へのメッセージ】

雇用情勢等は、変化します。最新のデータを確認する。また、労働や生活保護法を含め法制度に関しては、ファミリーソーシャルワーク視点から広い視野で学びを深める。